島根大学教育学部紀要（人文・社会科学）第23巻－第２号　35頁～42頁　平成元年12月

英語日常語の意味と文化

山田　政美*・田中　芳文**

Masayoshi YAMADA and Yoshifumi TANAKA

A Semantic and Cultural Study of Everyday English Words

０．英語日常語彙について山田・田中（1988）で検討を試みた。本稿では，アメリカ英語・文化を取り扱った日本人の英語学習者用の教材から，日常語彙を中心に取り上げて検討することにする。この教材は，ＶＯＡ放送の中でも「アメリカ人の日常生活や文化の断面や縮図を浮きぼりにして，わかりやすく紹介する *This is America* という番組で放送されたもの」のスクリプト原稿をテキストにしたものである。[1] このテキストが扱う内容は次の10項目である。

1．American Television
2．Credit Cards
3．Supermarkets
4．Teenagers
5．Commuting
6．Physical Fitness
7．Newspapers
8．American Family
9．Automobile Industry
10．Academy Awards

本稿では，次のカテゴリーから日常語を取り上げて検討する。[2]

（ｉ）テキストの本文中に出てくる語
（ii）テキストのアメリカを紹介する囲み記事に出てくる語
（iii）テキストの *Teacher's Manual* に出てくる語
（iv）（ｉ）～（iii）に関連すると思われる語

1．baked beans

Jeff: I've checked the kitchen and made a list of the things we're out of.

Melinda: Okay...Kienow's has *baked beans* on special at 98¢ for a large can. Let's pick some up while we're there. —*Survive,* p.66

この語についてほとんどの学習英和辞典は収録していない。『小学館英和中』は「煮豆をベーコンなどと焼いた料理」とするが不十分である。『リーダーズ英和』は「ベークトビーンズ」としてアメリカ英語とイギリス英語の両方の用法を収録し，前者を「完熟したインゲン豆を塩漬豚肉・トマトソースなど香辛料を加えて調理したもの」，後者を「インゲン豆のトマトソース煮（のかんづめ）」とする。前者については少なくとも（ｉ）通例塩漬けの豚肉（salt pork），赤砂糖（brown sugar）か糖蜜（molasses），調味料（seasonings）といっしょに調理すること，（ii）*Boston baked beans* とも呼ばれること，などは明らかにしておきたい（*cf.* Flexner 1982：62－63）。

また，*Texas Tri-Bean Bake* と呼ばれる料理がある。材料には，ベーコン，玉ねぎ，スイートコーン，ポーク，赤砂糖，チリパウダー（chilipowder）に，"kidney beans" が主に使われる。

なお，*baked beans* については次のような情報が参考になる。

西部劇や19世紀当時のアメリカの戦争映画を見ると，カウボーイや兵士たちが，とろりと煮込んだ豆を深皿に受けて食べている。あれが "ベイクドビーンズ" というものだと教えられたのは，いつのことだったろうか。

終戦直後，米不足で飢えた日本人に配給されたアメリカ軍放出食糧の中に，ベイクドビーンズの缶詰めがあった。ウズラ豆のような豆とベーコンの細切れをトマト味で煮込んだもので，当時若かった私たちには，結構おいしいものであったが，年とった人は顔をそむけたのを覚えている。

＊ 島根大学教育学部英語科教育（英語学）研究室
＊＊ 米子工業高等専門学校一般科目（英語科）

1620年秋，ヨーロッパから新天地を求めてやって来たイギリスの清教徒たちが，最初に上陸したのは，マサチューセッツ州のプリマスだった。アメリカ建国の地ともいうべきマサチューセッツ州の首都ボストンの名物料理としてベイクドビーンズが挙げられている。一名ボストンビーンズとも呼ばれ，ボストンは，この料理によって，ビーンズ・タウンとして有名になった。

土曜の日没から日曜の日没まで続く清教徒の安息日には，ベイクドビーンズが重宝な食事であった。日本で，おでんやさつま汁を大なべにいっぱいつくり，煮返しては食べるのと同じ発想である。

どの家庭でも，豆とベーコンを弱火の暖炉にかけて蒸し焼きにしていたが，忙しい主婦は，いつしかそれをパン屋に依頼するようになった。パン屋は，ベイクドビーンズに，ライ麦などでつくったブラウンブレッドを少しつけて配達したという。ベイクするといっても厚手のなべに入れて，かまどやオーブンに入れれば，四方から熱が加わって早く煮える。この豆とベーコンの煮込み料理は，タンパク質と脂肪の多い，高カロリー料理であった。アメリカ料理は，まことに栄養豊富な，そして素朴な料理である。

アメリカ人は，何事によらず，物事を社会的に解決しようとする。安息日に主婦も休みたいとなれば，下準備したものをパン屋に頼んで調理してもらう。教会から帰った彼らに，熱々のベイクドビーンズが届けられる。寒いアメリカ北東部の気候の下では，熱く，高カロリー，高脂肪の料理はうってつけのごちそうであったに違いない。

多くの日本人は，ベイクドビーンズはあまり好まない。しかし，おでんにしても，若い人には，肉の入ったものがうけるようになった。脂や肉の味を知れば，そして激しい運動をした後なら，ボストンビーンズも魅力的な一皿となるだろう。(東畑朝子「食の世界地図—熱々の煮込み料理，ベイクドビーンズ」)

2．cable TV, cable television

Cable television system also provide Americans with many different kinds of special progmams. The cable systems broadcast television programs by satellite to local cable companies. These companies then send the TV signals through wires to homes that pay for the service. So Americans who pay for *cable TV* can watch television programs that offer only news, or sports, or movies. —p. 2

Cable TV, in fact, can provide special programs for many different audiences, or groups of people, not just children. The networks design their programs to appeal to as many people as possible. Cable television companies, however, can show programs designed only for a special audience. One cable TV company shows only news, twenty-four hours a day. Another shows only sports. Several show only movies or rock music videotapes. *Cable television* is designed for those who are willing to pay to watch programs they are interested in. —pp. 7－8

cable TV, cable television については「有線テレビ（略語はCATV）」(『ニュー・アンカー英和』) とある。CATVを見ると「《略》 1 community antenna television. 2 cable television. ▶今では2の意味に用いることが多い。」(『ニュー・アンカー英和』) とある。また，「◆元来，テレビ難視聴地域での共同アンテナテレビの意で用いられていたが，最近はよくcable television（有線テレビ）の意で用いられる」(『サンライズ英和』) ともある。

CATV について *RHD* は "community antenna television" としかしていなかったが，*RHD*[2] は "community antenna television: a cable television system that receives television broadcasts by antenna and relays them by cable to paying subscribers in areas where direct reception is either poor or not possible." とした。また，*cable television* について *RHD* は収録していなかったが，*RHD*[2] は "a system of broadcasting television programming to private subscribers by means of coaxial cable. Also called **cable TV, pay cable.**" とした。

また，*CATV* には有料の pay channel とスポンサー料によって放送している無料の basic channel の2種類があるという情報がある。[3)]

しかし，『最新情報』から，cable television によるサービスには，毎月契約加入者が基本料金を支払い受信する basic service と，別途料金を支払い受信する pay service があり，後者は *pay channel*，あるいは *pay TV service* ともいうことがわかる。

3．carry

Americans often decide which products to buy on the basis of who produced them. So companies spend a lot of money telling the public that their goods are better than those of another company. Now, however, about sixty-five percent of all American supermarkets *carry* some products without names. —p.28

"to keep in stock: maintain on hand for sale" (*Web*³) で，さらに詳しくは，"To hold or keep on hand (securities, merchandise, a stock, etc.)" (*OED Supplement* (1972) s.v. **carry 38.c.**) で，当然のことながら共起関係が明らかにできる。*OED Supplement* (1972) の例文からは，

seller
operator
broker
sufferer
} CARRY stock

のような，*stock* を目的語とする例が多いが，"*Casket and Sunnyside* is carried in only six eastern libraries." のように，「ある本が図書館に（蔵書として）ある」ことを表して使うことができる例は面白い。もちろん，*Web*³の "a departmentstore carries hardware" (s.v. **carry 16 a**) の例がよい。なお，この用法は，*OED Supplement* (1972) に "orig. *U.S.*" とあるように元来アメリカ英語である。

ちなみに，上記引用例文中の "products without names" とは，いわゆるノーブランド商品のことで，法律で定められた事項のみが記されている商品である。カラー印刷ラベルとか，写真などはそのラベルに印刷されていないため低価格となっている。*generic brand, no name, plain wrap* などとも呼ばれる。

4．child care

学習英和辞典で *child care* を収録するものはもとんど見当たらない。名詞形について『リーダーズ英和』が *childcare* を収録するが，イギリス英語での地方自治体による一時的な児童保護という意味用法だけである（*cf. CED*)。『ジーニアス英和』はこの他に「育児」という意味を収録するが，漠然としている。

*RHD*²が*childcare*として "the care or supervision of another's child, esp. at a day-care center" としているのがより具体的である。あるいは，形容詞としての*childcare* には "specif., of preschool children whose parents are employed" と，意味を特定している。

この語に関連して，*child-care center, day care, day-care center* などについても検討しておく必要がある。

5．commuter marriage

Sometimes husbands and wives must travel so far to work, they live apart during the week. They are together only on weekends. —p.43

この本文について，テキストp.46の囲み記事に「そういう夫婦のことを commuter couple と呼んでいる。そのような結婚生活を指して commuter marriage（通勤別居）と言うのだそうだ。」とある。いずれの語とも英和辞典類には収録されていない。

commuter marriage について*RHD*には収録されていなかったが，*RHD*²が収録した。この語については，『最新情報』が「別居結婚，通い婚」としているが，「通勤別居」とともに訳語について検討する必要がある。

commuter couple について『最新情報』は「別居結婚している夫婦」として収録する。しかし，同時に *commuting couple* という語を収録し，「通い合い夫婦：夫婦双方が離れた場所に仕事をもっているため，別居生活をし，週末などに互いのもとに通い合う夫婦」としている。

6．dancercise

A number of health centers also hold what are called "*dancercise*" classes. This is a form of exercise done to the sound of music. It is extremely popular among women. About six million American women take in *dancercise* classes. These classes are often held in the middle of the day so that women who work can exercise during their lunch hour. Many say they like dancing for exercise because it makes them feel good. —p.53

この語は *dance*＋ex*ercise* の混交 (blending) によるものであり，『リーダーズプラス』が「ダンササイズ《一種のジャズダンス》」とするが，他の英和辞典類には収録されていない。

7．debit card

debit card はプラスチック製であるという点でplastic money と呼ばれる *credit card* に類似しているが，その機能は異なる。したがって，「（銀行預金から直接引き出せる）クレジットカード」（『小学館英和中』）のような記述は適切ではない。また，「（銀行預金の出し入れが直接できる）キャッシュカード」（『最新情報』）も *debit card* のもつ機能を正確に記述していない。

『リーダーズ英和』にあるように次の二つのことができるということを明確にしておかなければならない。

（i）　銀行預金機での現金の出し入れ

（ii）　物品・サービス購入代金の口座引き落とし

しかし，（ii）については，*credit card* による引き落としが後日になるのに対して，*debit card* による引き落としは即日行われるという点に違いがある。それが*debit*

card が *credit card* ほど人気が出ない理由と考える向きもある。

The use of *debit cards* is growing, but Spencer Nilson does not believe they will ever become as popular as traditional credit cards. Mr. Nilson says they cannot compete with what has always been the best part of carrying a credit card for many Americans — the pleasure of having what they want today, and postponing payment until later. —p.18

8. dish

次のような記事がある。

ニューヨークのエンパイアステートビルからマンハッタンの高層ビル街を見下ろすと，多くのビルの屋上に直径2－3メートルの白いディッシュ（皿）が目に入る。ニューヨークの新しい光景だ。赤道上空3万6千キロに静止した通信衛星から電波に乗せて降ってくる映像や画像データ類を直接受信したり，逆に電波を飛ばす，いわば「アンテナ」である。衛星時代のシンボルでもある「アンテナ」は，全米各地の住宅街やオフィス，レストランの屋上にどんどん増えているのも最近の傾向だ。（後略）（矢野一彦「離陸なるか？都市型CATV」『朝日新聞』1989年1月6日付）

学習英和辞典でも，『ニュー・アンカー英和』『ライハウス英和』『アプローチ英和』などはこのような *dish* の用法を収録しないが，例えば『研究社英和中』には「ディッシュ形のもの；パラボラアンテナ（の反射板）」のように記述されている。しかし，先の記事のように皿状のアンテナが普及してくるとなれば，下線部分については別々に扱う必要が出てくるのではないか。*WNWD*[3]は依然として "dish-shaped object, as the reflector of dish-antenna" であるが，*RHD*[2]は "anything like a dish"（s.v. **dish 6**）とは別に "Also called **dish antenna.** a concave, dish-shaped reflector serving to focus electromagnetic energy as part of a transmitter or receiver of radio, television, or microwave signals."（s.v. **dish 8**）とした。

なお，『最新情報は』家庭用の場合 *home dish* ともいうことを付記している。

9. express lane / fast lane

道路の追い越し車線を *express lane* あるいは *fast lane* と呼ぶが，これらの語はスーパーマーケット内でも使われる。*RHD*[2] は両方の語を収録するが，いずれも追い越し車線としての意味用法である。英和辞典類では『リーダーズ英和』『小学館英和中』が *fast lane* を収録しているが，やはり追い越し車線としての用法である。『最新情報』が *fast lane* について「特急レジ：スーパーマーケットなどで買い物の少ない客専用のレジ▶例えば，5，6点以下というように指定してある．express laneともいう．」としているのが参考になる。[4] したがって，テキストp.31の囲み記事にある express *line* の表現には疑義があり，検討を要する。

10. farebox

farebox については『リーダーズ英和』が「《鉄下鉄・バスなどの》料金箱」としているが，下線部については *RHD*[2]が "a metal box for passenger fares, as on a bus or streetcar" としていることから検討を要する。つまり，*fare*を入れる箱であればよいわけで，その乗り物を特定する際には，その文化的脈略を承知する必要がある。ちなみに，アメリカのバスでは，*farebox* の外側に "Passengers must deposit own fare" のような文句が，大文字で書かれているのが普通である。同様に "Exact fare please" の注意書きもある。

11. fare card

fare card については，サンフランシスコのBARTやワシントンのMetrorailで使われている料金支払用のカードであること，自動販売機で買うことができ，その際自分の入れた金額が記録されその金額を使いきるまで何回でも使用できることなどの情報があるが，[5] 英和辞典類には収録されていない。また，*RHD*[2]や *Web*[3]も収録していない。

12. farmers' market

Because of increasing prices, some Americans are buying less at supermerkets. They are looking for low-cost food in other places. One such place is the *farmers' market,* where farmers sell fruit, vegetables, and other fresh products directly to the public.

Farmers' markets are an old tradition in America. But after World War II, the markets had so much difficulty competing with supermarkets that they almost disappeared. Now, farmers again have started traveling from surrounding areas into cities to sell their products. Fifteen *farmers' markets* are opening in New York City, and 40,000 people visit the *farmers' market* in Detroit, Michigan each Saturday. —p.27

学習英和辞典でこの語を収録するものは見当らない。

*Web*³, *RHD*は収録しないが*RHD*²が収録した。ここでの意味は "a market or group of stalls and booths where farmers and sometimes other vendors sell their products directly to consumers." である。この語については *Teacher's Manual* (p.17) に「日本の地方都市でみられる朝市によく似ているが，アメリカではニューヨークを始め大都市ではやっていて，朝から夕方まで開いている。サラリーマンやオフィスに勤める女性たちが昼の休みに新鮮で値が安い野菜や果物などを買う。」と書かれているが，そういう場合もあり，小さな町では，特定の曜日の朝方，この風景を見かけることも多い。要するに産地直送なのである。[6)]

13. health center

Millions of Americans exercise in their homes. Others exercise at work: a growing number of companies are providing exercise centers for their employees. Still other Americans join *health centers*, or gyms, where they can use weight-lifting equipment and other exercise machines.

Many gyms and *health centers* also provide space for such indoor games as racquetball and squash, and most centers have pools for those who want to swim. A number of *health centers* also hold what are called "dancercise" classes. — p.53

*Web*³ *Addenda* (1981), *RHD*², *WNWD*³といったアメリカ系の辞書には *health center* は収録されていない。英和辞典類にはイギリス英語として「保健所，診療所，医療センター」といった訳語があるだけである。

この語に関連して *conditioning center, fat farm, fitness center, health club, health spa, spa*などの語についても検討する必要がある。[7)]

14. insect poison

"Natural" foods also include fruit and vegetables that are grown without the help of chemical fertilizers, or *insect poisons*. — p.57

rat poison については『リーダーズ英和』が「殺鼠剤，ねこいらず」として収録するが，*insect poison* を収録する英和辞典類はない。*insecticide* と呼ぶことが一般的であるからであろう。

15. pay TV

The number of *pay TV* companies that broadcast movies to homes is increasing. Most of these depend on satellite communications to send the movies to local cable TV companies. The movies are sent by underground cable to the homes of people willing to pay for them. Also, some companies are planning to broadcast progrsms directly to the home by satellite.

……

But the major film companies no longer feel as threatened as before by the development of *pay TV* technology. In fact, many moviemakers believe that *pay TV* cannot survive without Hollywood companies because *pay TV* companies need a continuous supply of films. — p.94

pay TV については*Teacher's Manual* (p.55) には「ペイテレビ，有料テレビ，pay cableともいうことがある．STVとCATVの２つの方式がある．STVはsubscription television(視聴料をとるテレビ)，空中波を利用した有料テレビサービス．テレビ電波にスクランブルをかけて放送され，有料のディコーダー(解読器 decoder)を設置した契約加入者だけが視聴できる有線テレビ放送．アメリカでは1976年から放送されている．なお，スクランブル(scramble)とは盗視聴防止のために，周波数を計画的に変換すること．ディコーダー (decoder) を通すともとの周波数にもどる．スクランブルをかけると画面に線がはいって見えなくなる．」という解説がある。しかし，この記述に関して次の２点について検討を要する。

(i) *pay TV*が*pay cable*と同義であるとの記述があるが，『最新情報』には *pay cable* について「ペイケーブル：ペイテレビ (pay-TV) の一種」とある。

(ii) *pay TV* には STV と CATV の２つの方式があるとあるが，*RHD*²によると *pay TV* はSTV (subscription television) と同義である。さらに『最新情報』はpay TVをSTV，pay cable，MDS (MMDS)，LPTV，SMATVの５つに大別している。

また，*pay TV* の視聴者は月ごとの料金 (a monthly charge) か番組ごとの料金 (a per-program fee) を支払うことが*RHD*²から分かるが，『最新情報』によると視聴料の課金方式には (i) チャンネルごとに料金を設定した定額制の pay per channel，(ii) サービスの種類ごとに何層かの料金を設定した tier，(iii) 番組ごとに料金を設定した従量制の pay per view の３つがある。

16. prime time

*RHD*²が "*Radio and Television.* the hours, generally

between 8 and 11 P.M., usually having the largest audience of the day." としているが，英和辞典類では次のように時間帯の記述にずれがあるので検討しなければならない。また，日本のいわゆるゴールデンアワーとも時間帯が異なると思われるので注意しなければならない。[8)]

通例午後7－11時　（『リーダーズ英和』）
普通午後7時から10時まで　（『ジーニアス英和』）
通例午後8時～11時ごろ
（『ニュー・アンカー英和』）

また，「《ラジオ・テレビ》視聴率の最も高い時間，ゴールデンアワー」（『ライトハウス英和』）「（テレビなどの）ゴールデンアワー《広告料金が最高の時間帯》」（『グローバル英和』）については，下線部分の記述の仕方を検討する必要がある。

さらに，*fringe time, family hour, family time* といった語についても知っておくべきであろう。

17. shower

"a party given for a bestowal of presents of a specific kinds, esp. such a party for a prospective bride or prospective mother"（*RHD*²）である。したがって，「《主に米》（結婚・出産の）お祝い品贈呈パーティー」（『ジーニアス英和』）よりも「《米》（これから結婚［出産］する女性などに）祝い品を贈るパーティー」（『アプローチ英和』）のような記述の方がよいであろう。*a bridal shower, a baby shower* というように使う。

shower の語源に関して『グローバル英和』が「お祝い品を浴びせかける，の意味」としている点はよい。『ニュー・アンカー英和』が「贈り物は通例安価で便利なもの」としているが具体的にはどのようなものかを検討したい。

『リーダーズ英和』は *shower* の項で *shower party* を見るように指示し，そこで「（特定の）贈り物をするためのパーティー，《花嫁になる女性へ贈り物をする》花嫁披露会」としている。*shower party* を収録する必要があるのかどうか，また下線部分の記述の仕方については検討する必要がある。

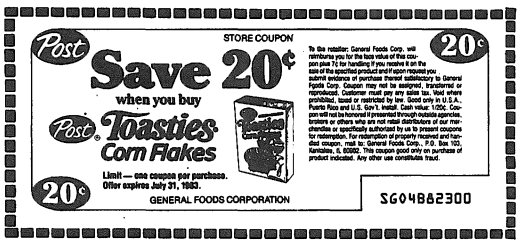
18. supermarket coupon

Janet: Listen, I'm going to the store. Did you remember to cut those *supermarket coupons* from the newspaper for me?

Maggie: Yeah, I cut them out while I was watching the news.

—*Life Styles* 1，p.53

クーポン券にはさまざまなものがあるが，スーパーマーケットで使用されるものについては，"Supermarket coupons can be cut out of newspaper advertisements and presented at a supermarket for a discount on certain items."（Kimbrough and Cardens 1982：75）とあるのが参考になる。



19. TV dinner

Melinda: Popcorn's cheap — two pounds for 79, and I think we're out.

Jeff: Yeah, we are — I used the last of it on Sunday. Anything else?

Melinda: Their *TV dinners* are on sale, too, but who cares?

Jeff: No thanks! Let's go!

—*Survive,* p.66

TV dinner については山田他（1983）で取り上げた。「テレビ食《熱を加えるだけですぐ食卓に出せる冷凍インスタント食品》」（『リーダース英和』）であるが，（i）電子レンジ（microwave oven）で加熱する，（ii）仕切られたアルミ箔の皿にのっている，（iii）通例，肉，ジャガイモ，野菜から成る，などの点は明らかにしておきたい。また，加熱時間について「30分ほど熱すると食べられる」（『ニュー・アンカー英和』）との記述があるが，検討を要する。

阿部一博氏の報告によると，（i）に関して「マイクロウエーブ食品」とも呼ばれることや，「ふたに加熱完了インディケータが付いていたりガスオーブンで加熱するときのアルミ箔が付いている物」があることがわかる。さらに，スーパーマーケットでは観音開きの冷凍ショーケースに陳列されていることが多いこと，250～350種類あること，値段は4.19ドル～1.29ドル（平均2.59ドル）の幅があること，などが報告されている。

今年の春から夏にかけ，合衆国メリーランド州のアメリカ農務省の研究所で，果実や野菜の加工に関する研究を行う機会があった。滞在期間中，スーパーマー

ケットにはわが国とは比較にならないほどのスペースで，多種多様の冷凍食品が陳列されているのを目の当りに見ることができた。わが国の冷凍食品の生産量は最近急増しているものの，店頭で見られる物は肉類，魚介類，野菜類の半調理品や調理素材としての野菜などで種類は多くないのが現状である。しかし，合衆国で販売されている冷凍食品は，量ばかりか質的にも変化に富んでおり，とくにマイクロウエーブ食品もしくはTVディナーと呼ばれる食品の種題と量の多さに驚いた。

このTVディナーと呼ばれる冷凍食品は写真のように，1枚の皿もしくはトレイに1人の1食品に相当する肉・魚介類や付け合わせなどが盛られており，製品によってはデザートまでが付いているもので，これにパンを数切れ加えれば食事ができあがることになる。まさにテレビを見ている間に，電子レンジで温め，テレビを見ながら食べることのできるTVディナーである。

TVディナーは，スーパーマーケットでは観音開きの冷凍ショーケースに陳列されていることが多く，調査した店舗では250～350種類のTVディナーがあった。それらの中から代表的な物を約40種類購入し，食味調査を行った。

最も高かったのが4.19ドルで，安かったのが1.29ドル，平均2.59ドル（1ドル125円として，約320円）であり，ファストフードの店で食事をすると3ドルくらいの経費がかかることと比較すると2.59ドルはあまり高くない価格のように思われる。箱には，使用している素材や添加物が詳細に明示され，中身全体のカロリー，タンパク質，炭水化物，脂肪，食塩の量やミネラルの量まで表示されていた。

食味調査結果であるが，①牛肉と魚介類はあまりおいしくないが，豚肉や鶏肉はかなり評価できる　②付け合わせの野菜にはほとんど味付けがされていないが，野菜本来の味を持っており，高品質の原料を使用している　③購入時に選択に困るくらいバラエティーに富んでいる　④内容物の平均重量は322グラムであった。内容量についての評価は個人差が大きいと思われるが，平均的な日本人の1食分としては十分な量である　⑤箱に表示されている写真とほぼ同じ内容物が，質的にも量的にも問題なく入っており，わが国のような誇大表示はほとんど見られなかった　⑥肉類の脂肪部は取り除いてあったり，低カロリーを大きく表示したり，カロリーに対する関心が大きい　⑦ふたに加熱完了インディケータが付いていたりガスオーブンで加熱するときのアルミ箔が付いている物もあり，細かいサービスが見られる――などである。

一方，わが国においても1985年秋から電子レンジ専用食品が売り始められ，独身者や単身赴任者のほか，一般家庭にも浸透しているようであるが，合衆国のTVディナー並みの価格，内容量，品質（味付け）があれば，消費量が増えるのではないか，と思った。

TVディナーは，わが国の将来の食事形式を暗示しているようでもある。（阿部一博「米国のTVディナー」『産經新聞』1988年12月19日付）

また，『アプローチ英和』は *fast food* の項の生活用語の欄で「ハンバーガー（hamburger），フライドチキン（fried chicken），フィッシュアンドチップス（fish and chips），TV dinner などは注文するとすぐ出されることからfast　foodとよばれる.」と記述しているが，*TV dinner* をここに含めるべきかどうか検討する必要がある。

Notes:

1) 長谷川　潔，上杉　明（1988），『アメリカの日常生活と文化』（*Life and Culture in America*）成美堂。なお，このテキストは，1988（昭和63）年度に米子工業高等専門学校の3年生2クラス（建築学科，工業化学科）を対象に，英語総合Ⅲの授業において使用し，その中に出てくる英語の日常語の意味用法についての学生の解釈にどのような問題が生じるかが実験的に分かった。
2) 各項目で引用した例文は，特に明記した場合以外はこのテキストからのものである。
3) 『アメリカ日常語カタログ』（別冊 *The English Journal*），アルク，1985，p. 113。
4) 次のような情報もある。「レジには急ぐ人のためのexpress laneとそうでないのがあり，expressはたいてい買い物が10点以下の客。」（『アメリカ日常語カタログ』（別冊*The English Journal*），アルク，1985，p. 41）店によっては“Less than 8 items”のような表示も示されている。
5) 『アメリカ日常語カタログ』（別冊*The English Journal*），アルク，1985，p. 17。
6) Genzel and Cummings（1986：173）は，*public market*とも呼ぶことを示している。しかし，同書が*farmers' market*ではなく*farmer's market*としているのは誤りであろう。
7) 『アメリカ日常語カタログ』（別冊 *The English*

Journal), アルク, 1985, p. 146を参照。

8) また,『ニュー・アンカー英和』にはthe prime hours ともいうとの記述がある(*cf. WNWD*³)。ちなみに, *golden hours* は, テレビ関係労働組合が,「週末, 祝日, 深夜などの賃金が数倍も高く支払われる見返りの多い時間 (lucrative hours)」と考えるものを指す語として存在する。なお, このときの「超過勤務時間」のことを *bubble* と呼び, また, このとき支払われる「2倍の賃金」は *double bubble*,「3倍の賃金」は *triple bubble* と呼ぶ。

References:

Flexner, S.B. (1982), *Listening to America.* New York: Simon and Schuster.

Genzel, R.B. and M.G. Cummings (1986), *Culturally Speaking: A Conversation and Culture Text for Learners of English.* New York: Harper & Row.

Kimbrough, V. and A. Cardenas (1982), *Life Styles, Teacher's Manual 2.* New York: Longman.

山田政美・田中芳文 (1988),「英語日常語彙の社会言語学的研究」,『島根大学教育学部紀要』(人文・社会科学編) 第22巻, 第2号, pp. 1－8.

山田政美・山本 昭・山本文子 (1983),『現代アメリカ名詞辞典』荒竹出版.

辞書:([ ] 内は本稿で用いた略記. 英和辞書類の出版年は使用した版による)

Collins English Dictionary. Second edition. London: Collins. 1986. [*CED*]

A Supplement to the Oxford English Dictionary. Vol. 1. Oxford: Oxford University Press. 1972. [*OED Supplement* (1972)]

The Random House Dictionary of the English Language. New York: Random House. 1966. [*RHD*]

The Random House Dictionary of the English Language. Second edition. New York: Random House. 1987. [*RHD*²]

Webster's New World Dictionary of American Language. Third college edition. New York: William Collins and World. 1988. [*WNWD*³]

Webster's Third New International Dictionary of the English Language. Springfield, Mass.: G. & G. Merriam. 1961. [*Web*³] ; *Addenda Section.* 1981. [*Web*³ *Addenda* (1981)]

『アプローチ英和辞典』第2版. 研究社. 1988. [『アプローチ英和』]

『ライトハウス英和辞典』研究社. 1984. [『ライトハウス英和』]

『ニュー・アンカー英和辞典』学習研究社. 1988. [『ニュー・アンカー英和』]

『ジーニアス英和辞典』大修館書店. 1987. [『ジーニアス英和』]

『小学館英和中辞典』第2版. 小学館. 1987. [『小学館英和中』]

『新英和中辞典』第5版. 研究社. 1985. [『研究社英和中』]

『グローバル英和辞典』三省堂. 1983. [『グローバル英和』]

『サンライズ英和辞典』旺文社. 1986. [『サンライズ英和』]

『リーダーズ英和辞典』研究社. 1984. [『リーダーズ英和』]

『リーダーズプラス』研究社. 1984. [『リーダーズプラス』]

『最新英語情報辞典』第2版. 小学館. 1986. [最新情報』]

Textbooks: ([ ] 内は本稿で用いた略記)

Church, N. and A. Moss (1983), *How to Survive in the U.S.A.: English for Travelers and Newcomers.* Cambridge: Cambridge University Press. [*Survive*]

Lozano, F. and J. Sturtevant (1981), *Life Styles, Student's Book 1.* New York: Longman. [*Life Styles 1*]